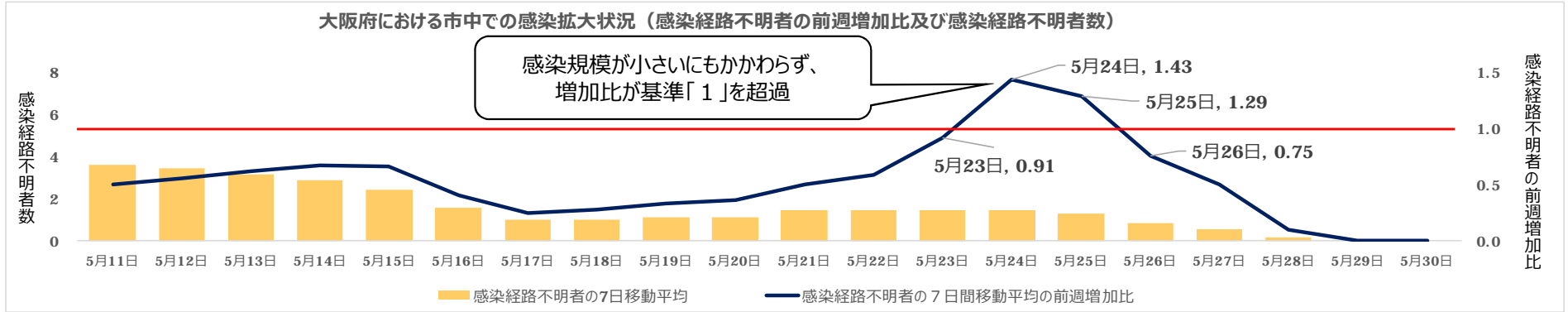


新型コロナウイルス感染症 大阪モデルにおける注意喚起（黄色）点灯の運用について

資料 1 - 3

- <現状>
- 「大阪モデル」では、「感染爆発の兆候」と「感染の収束状況」を判断するためのモニタリング指標及びその基準を設定し、5月8日より警戒信号点灯の運用を開始。
 - 5月11日から17日までの1週間で、感染経路不明者の人数が0人から2人となる日が続いた結果、5月24日の感染経路不明者が0人であっても、「感染経路不明者の前週増加比（7日間移動平均の前週比）」の指標は、自粛要請等の基準（1以上）を超過。

<「7日間の移動平均の前週比」の推移（前提：5月24日以降、感染経路不明者が0人と仮定した場合）>



	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29	5/30
感染経路不明者数	1	2	2	1	1	0	0	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
指標①感染経路不明者の7日間移動平均の前週増加比	0.50	0.56	0.61	0.67	0.65	0.41	0.24	0.28	0.33	0.36	0.50	0.59	0.91	1.43	1.29	0.75	0.50	0.10	0.00	0.00
指標②感染経路不明者の7日間移動平均	3.57	3.43	3.14	2.86	2.43	1.57	1.00	1.00	1.14	1.14	1.43	1.43	1.43	1.43	1.29	0.86	0.57	0.14	0.00	0.00

感染経路不明者が0人と仮定した場合の推測値

<運用> モニタリング指標が基準を満たした場合の「警戒信号」の点灯基準については、以下のとおりとする。（下線部が追記事項）

警戒信号		信号の色	(意味)	対応
自粛要請等に向けた場合	モニタリング指標（3つ）のうち、1つ又は2つの指標において、「自粛要請等の基準」を満たした場合 ※ただし、指標①「感染経路不明者の前週増加比」のみ基準を満たした場合は点灯しない。	黄	注意喚起	

なお、今後、大阪モデルのモニタリング指標については、専門家等の意見を踏まえて、さらに精度を高める。

大阪モデルにおける警戒信号と今後の検討課題

- **モニタリング指標①「新規陽性者における感染経路(リンク)不明者前週増加比」は、市中における感染拡大を早期に発見する上で重要な指標であることから、指標の見直しは行わない。**
- **感染経路不明者の人数が少ない状況下では、警戒信号の点灯の運用による取り扱いとする。**

＜参考＞ 第15回対策本部会議 朝野座長意見

⇒ モニタリング指標①は、市中における感染拡大を早期に探知する基準であり、早期に府民に対し外出の自粛、人との接触等感染対策の協力をお願いする指標

＜各指標が「自粛要請等の基準」を満たした場合の点灯の色＞

	パターン 1	パターン 2	パターン 3	パターン 4	パターン 5	パターン 6	パターン 7
①感染経路不明者の前週増加比	●	●	●	○	○	○	●
②感染経路不明者数	○	●	○	●	●	○	●
③確定診断検査における陽性率	○	○	●	○	●	●	●
警戒信号の色	緑	黄	黄	黄	黄	黄	赤

【今後の課題】

- **新規陽性患者の発生状況を把握する指標の精査**
- **PCR検査と抗原検査の検査総数の増加による陽性率のあり方**